

豊田工業高等専門学校	開講年度	令和06年度(2024年度)	授業科目	西洋建築史
科目基礎情報				
科目番号	54232	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	建築学科	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	「増補新装 カラー版西洋建築様式史」熊倉洋介他著(美術出版社) ISBN978-4568400786 / 授業時に配布するプリント 及び 「西洋建築史図集」日本建築学会編(彰国社) ISBN4-395-00021-5			
担当教員	三島 雅博			
到達目標				
(ア)各時代の建築課題を理解し、時代の価値観や建築の意義を説明できる。				
(イ)各時代・様式の代表的建築の名を挙げることができる。				
(ウ)各様式の特徴を、キーワードを用いて説明できる。				
(エ)各様式とその背景との関係を説明できる。				
(オ)各様式の基本的構成を把握し、各部の名称を述べることができる。				
ループリック				
	最低限の到達レベルの目安(優)	最低限の到達レベルの目安(良)	最低限の到達レベルの目安(不可)	
評価項目(ア)	各時代の建築課題を理解し、時代の価値観や建築の意義を説明できる。	各時代の建築課題を理解し、時代の価値観や建築の意義をおおよそ説明できる。	各時代の建築課題を理解し、時代の価値観や建築の意義を説明できない。	
評価項目(イ)	各時代・様式の代表的建築の名を挙げることができる。	各時代・様式の代表的建築の名を結びつけることができる。	各時代・様式の代表的建築を理解できていない。	
評価項目(ウ)	各様式の特徴を、キーワードを用いて説明できる。	各様式の特徴を、キーワードを用いておおよそ説明できる。	各様式の特徴を、キーワードを用いて説明できる。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育到達度目標 B2 建築分野の必要な基礎的知識や技術を修得する。				
学習・教育到達度目標 E1 日本や世界の文化や歴史を、地球的な視点から多面的に認識し、建築技術が社会に与える影響を理解する能力を修得する。				
JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力				
本校教育目標 ② 基礎学力				
本校教育目標 ⑤ 技術者倫理				
教育方法等				
概要	対象とするものはヨーロッパ建築の発展であるが、授業はその源の一つとなったエジプトやオリエントの建築から始める。ヨーロッパ建築の最も重要な根柢は古典となったギリシャやローマの建築であり、また、その後の発展を最も大きく支配したのはキリスト教であった。これらを基に各建築様式とその成立過程、成立要因などを述べ、建築と社会との結びつき、建築芸術のありようがどのようにあつたかについて学ぶ。			
授業の進め方・方法	授業には建築史の専門用語を調べる課題レポート、及び代表作を調べる課題レポートを課す。			
注意点				
選択必修の種別・旧カリ科目名				
選択必修2 規制技術に含まれるものはない				
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週 古代オリエント建築と古代エジプト建築、エーゲ海建築 課題レポート(用語調べ)を課す。	(ア)(イ)(ウ)	
		2週 古代ギリシャ建築:神殿建築、形態と構成、3種のオーダー、課題レポート(用語調べ)を課す。	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		3週 古代ギリシャ建築:視覚補正、建築的特質 古代ローマ建築:建築課題、構造・材料 課題レポート(用語調べ)を課す。	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		4週 古代ローマ建築:5種のオーダー、建築的特質 課題レポート(用語調べ)を課す。	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		5週 初期キリスト教建築(バシリカ式聖堂、集中堂) 課題レポート(用語調べ)を課す。	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
	4thQ	6週 ビザンチン建築:東ローマ帝国の建築、ペンデンティブ・ドーム 課題レポート(用語調べ)を課す。	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		7週 ロマネスク建築:ブリ・ロマネスク、特徴、地方性 課題レポート(作品調べ)を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		8週 ゴシック建築:形態的特徴と空間表現 課題レポート(作品調べ)を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		9週 ルネサンス建築:古典造形の復活、「建築家」の誕生 マニエリズム 課題レポート(作品調べ)を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		10週 バロック建築:背景、芸術的特色、造形 課題レポート(作品調べ)を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	
		11週 ロココ建築:造形的特徴、バロック建築の反動、合理性の誕生 課題レポート(作品調べ)を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	

	12週	18世紀建築：新古典主義と歴史主義 課題レポート（作品調べ）を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	13週	近代主義建築の誕生：アル・スーザー、近代芸術、アーリー・ルイス 課題レポート（作品調べ）を課す	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	14週	近代主義建築の確立：ル・コルビュジエ、バウハウス、ミース・ファン・デル・ローフ	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	15週	総まとめ 授業後に復習し、学習内容を深めること。	(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	定期試験	レポート	合計
総合評価割合	60	40	100
専門的能力	60	40	100